

市民版でのシリーズ企画掲載で、行政の取り組みを市民へ広く発信

「がん」をテーマにした著名人・医師のメッセージを掲載
名古屋市「ワンコインがん検診」認知と受診率の向上へ

現在、日本人は一生のうち2人に1人はかかると言われている病気「がん」。その割合は年々増加している。ただし、禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって予防することができ、定期的に検診を受けることが何より大切である。

名古屋市では、勤務先等で受診機会のない名古屋市内在住の市民を対象に、胃がん、大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの6種類のがん検診「ワンコインがん検診」を実施している。自己負担金は1つの受診につき一律500円。全国の中でも先進的な取り組みとして注目を集めている。

しかし昨年度は受診率がやや伸び悩んでいたため、その打開策として、がんを治療した著名人が体験談を語るシリーズ広告を提案。結果、医師からのメッセージも含め、著名人5名＋医師5名の計10回にわたり掲載となった。

新聞を読んだ市民からの問い合わせも多かったとのことで、今年度も一緒に啓蒙活動を行っていききたい、とのお話をいただいている。

名古屋本社 広告三部 緒方直晃

[illegible]

↑ 上から

2017年3月19日付・20日付・
22日付・23日付・25日付・
27日付・28日付・29日付・
30日付・31日付
(いずれも中日新聞朝刊市民版)